

**防災分野に関する
日本国国土交通省とインドネシア共和国国家防災庁との間の協議議事録(仮訳)**

日本国太田昭宏国土交通大臣と、インドネシア共和国シャムスル・マアリフ国家防災庁長官(以下「双方」という。)は、2013年12月27日にインドネシア・ジャカルタで会談した。会議は、両国間の長年の緊密かつ友好的な関係を反映して、温かく親密な雰囲気の中で行われた。会議の主な議題は、防災分野での協力に関する意見交換が主な議題であった。両国の代表団は別紙1及び2の通り。

双方は、両国における近年の大災害の経験を共有し、防災分野における二国間協力を強化する必要性を強調した。

防災分野における将来にわたる協力のため、日本側は、産学官のリソースパーソンが参加した防災分野での対話を通じた効果的かつ持続的な協力を促進する“防災協働対話”の枠組みにより協力を促進することについて、インドネシア側に提案した。双方は、事務方での調整を通じて、効果的かつ実用的な対話の方法を追求することを確認した。

会議の結論として、以下の原則に沿って、防災分野の協力を強化していくとの見解を共有した。

- a. 本協力の範囲は地震、津波、洪水、土砂災害及び火山災害に関する対策を含むことを基本とする。
- b. 本協力にあたっては、人材育成についても考慮することを基本とする。
- c. 防災分野におけるICT(情報通信技術)ソリューションについても、本協力の重要な一部分として認識することを基本とする。
- d. 本協力を通じ、防災分野における効果的な情報交換が促進することを基本とする。

双方は、上記の原則を踏まえた、防災分野における両国の協力を実行するための様式やガイドラインについて更に議論すること、及び上記の点を考慮した協力覚書締結に向けて調整することについて、共通の認識を確認するに至った。

2013年12月27日にジャカルタで、英語により二通を作成した。

日本国国土交通省を代表して

インドネシア共和国国家防災庁を代表して

太田 昭宏
国土交通大臣

シャムスル・マアリフ
国家防災庁長官